



第108号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fukikendo@herb.ocn.ne.jp



(二財) 福井県剣道連盟

専務理事

西川

譲

福井県剣道連盟活性化について

昨年末より新型コロナウイルス感染拡大予防のために、社会はもとより剣道界も稽古や試合等の活動自粛を余儀なくされています。そんな中で、河越純二専務理事の後任として専務理事を務めさせていただくことになりました西川譲です。専務理事として福井国体を大成功に導かれるなど、本県剣道連盟を永年に亘ってご指導をいただきました河越先生のお姿を身近で拝見してきましたので、大変重い職責であると感じています。微力ながら会員の皆様方のご支援とご協力を賜りながら、何とか任期を全うしたいと考えています。

さて専務理事を務めさせていただくにあたって、「本県剣道界活性化」

のために、以下の三点について取り組んでいきます。

一、剣道人口拡大

①普及部の新設

今年度より普及部を新設し、剣道人口の拡大を図っていきます。山本英俊常務理事に部長をお願いし、少年剣道、中学校、高等学校、一般、女性の各層から普及部委員を委嘱し、普及活動に取り組んでいきます。また普及部と女性部が協力し合いながら、幼少年剣士と女性剣士の人口拡大に取り組んでもらいます。

②幼少年剣道人口拡大

出生率低下による人口減少の中で、剣道の「良さ」と「楽しさ」を幼少

年と保護者に伝え、一人でも多くの子どもたちに剣道に親しんでもらえるような方策（体験教室の開催等）を普及部中心で実施していきます。

③女性剣士人口拡大

本県剣道連盟では、全剣連に先立ち女性部を立ち上げ、女性剣士の活動の活性化を図ってきました。しかしながら女性剣士の皆さんは、小学校・中学校・高等学校・大学と剣道を続けられますが、就職や結婚・出産・育児等で剣道から離れる方が多く見受けられます。女性剣士が安心して稽古を続けられる環境づくりや活動に、女性部（堀江ユミ部長）を中心に取り組んでいただきます。また女性剣士のお子さんは、必ずと言って良いほど剣道に励んでおられます。お母さんに剣道を続けていただくことは、幼少年剣道人口拡大にも大きな力となります。

④広報部からの情報発信

剣道人口拡大のもう一つの方策として、広報部からの情報発信による剣道の「良さ」や「楽しさ」を伝える活動にも取り組んでいきます。上嶋啓芳部長を中心に、「剣道だより」と「ホームページ」を使って情報発信に努めます。先日の理事会で、ホームページのリニューアルを図ることも決定され、会員だけでなく多くの方々にご覧いただけるホームページ

づくりに、広報部で取り組んでもらいます。

⑤合同稽古会の開催

年齢・職域をこえ福井国体強化選手にも参加してもらい、「あこがれの剣士」と稽古ができる連盟主催の合同稽古会の開催等を検討していきます。

二、剣道強豪県を目指す

福井国体の遺産を活かした強豪県作りです。福井国体では、本県剣道連盟の総力を挙げての強化策が功を奏し、総合優勝することができました。少年女子・成年女子の初優勝、少年男子・成年男子の第三位入賞は、輝く金字塔として永く福井県剣道史に燦然と輝くことでしょう。この貴重な経験をもとに、少年剣道・中学校・高等学校・一般と繋がっていく強化策を、強化選考部を中心として進めて行きたいと考えています。本県は人口が少ない県ですが、少年剣道の道場・スポーツ少年団・剣道教室、各中学校剣道部、各高等学校剣道部、社会人・警察・教職員間の関係が良好で、協力して強化に当たって来た歴史があります。これを活かして連携して強化に励み、いつも全国大会で入賞できる強豪県の仲間入りを目指していきます。

三、財政の健全化

福井国体開催に伴い県剣道連盟の財政がひつ迫し、本県剣道連盟の諸事業にも少なからず影響を与えています。剣道人口の拡大や、剣道を応援していただく賛助会員の拡充を図ることで、諸事業が円滑に遂行することができるようになっていきます。

【おわりに】

片山外一会長はじめ五人の副会長のご指導を仰ぎながら、三名の常務理事、各部の部長（理事）と力を合わせ、各部・委員会の活動を通して、本県剣道連盟の活性化に努めてまいりますので、よろしくご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。



大会報告行事報告

令和二年度剣道女子伝達講習会・合同稽古会

合同稽古会

令和二年七月二十三日（木・祝）

於：福井県立武道館多種目競技場

私は二月二十二・二十三日兵庫県にて開催された全日本剣道連盟主催の「第七回女子剣道指導法講習会」を受講させていただきました。講習

稽古だけではなく、全国の女性剣士の方々と知り合い、情報交換出来たことはとても刺激になりました。その講習内容を伝達するため、標記講習会の講師を務めました。県内各地区から9名の女性剣士が参加されました。

コロナウイルス感染防止のため、密にならない、間隔をとる、換気を心掛け、講習会で聞いたお話、特に奥島快男副会長による「女子指導者への期待の講話」など織り交ぜながら、まずは今後の女性部の活動についての意見交換をしました。今回初めて参加される方もおられ、いろいろな意見も出ました。

次に「木刀による剣道基本技稽古法」を面マスク着用して行いました。今回の参加者はほとんどが少年剣道の指導に携わっている方ばかりです。地区によって稽古再開の時期も違っ

ているので、面マスクとマウスシールドに慣れていない方もおられ、いきなり剣道具を着用しての打ち込み等の稽古ではキツイという事になり、まずは木刀による剣道基本技稽古を行いました。その後少し基本打ちをして終了しました。面マスクとマウスシールドを着けての稽古は「息がしづらく結構大変」がみなさんの感想でした。さすが女性！参加者のマスクは手拭いの方、手作りの方、みなさんとても工夫されました。

【講習会参加者】

- 堀江 ユミ (坂井地区)
- 小寺 みゆき (坂井地区)
- 岡田 恵子 (坂井地区)
- 谷口 典子 (越前市)
- 江指 恵 (丹生地区)
- 榑原 陽子 (福井地区)
- 安原 真紀 (坂井地区)
- 大味 香代子 (坂井地区)
- 鳴崎 さおり (坂井地区)



参加した女性剣士の「木刀による剣道基本技稽古法」稽古の様子

記：榑原 陽子

第68回福井県剣道大会

中学校の部

令和二年九月十九日(土)

於：福井県立武道館

九月十九日(土)に「第六十八回福井県剣道大会中学校の部」が、各関係団体の協力のもと、コロナウイルス感染拡大防止の対応がとられ開催された。

昨年度末から今年度初めにかけて、剣道のみならず様々なスポーツや文化的行事が、中止や延期を余儀なくされてきた。剣道界においては全日本剣道連盟からガイドラインが示され、特に対人稽古においては自粛が呼びかけられてきた。同時に同連盟が、感染拡大の防止のために対策を講じれば安全に剣道ができることや、

著名な剣道家から、今だからこそできることに取り組むことの大切さについて呼びかけがあった。そのことで我々は勇気づけられ、先人が築き上げてきた剣道の理念や価値を、改めて考えるよい機会にすることができた。

開会式では、県剣道連盟会長の片山外一氏から新しい優勝旗が寄贈され、コロナに負けない剣道競技であるようにということや、剣道に取り組む中学生の健全な成長を願っているということについて、お言葉をい

ただいた。また南越中学校主将の山田優生選手が「県大会、北信越大会全中大会が中止になり、悔しい思いをしてきた先輩の姿を目にしてきた。その先輩方の思いを胸に正々堂々と戦う」と選手宣誓をして、大会を勢いづけた。

本大会は、本県にとつて今年度初めての大会であった。十二月には小学生の大会が予定されており、以降のコロナ対策を実施した大会のモデルとなりそうである。対策の具体的内容については、以下の通り。

・午前と午後で男女の試合を分け、大道場入場を放送で指示

・入館時の検温実施。手指消毒剤を設置

・鏝競り合いは5〜8秒程度で「分かれ」をかける

・観客席は1席ずつ空けて座り、各地区・各学校で場所を設定。など

結果は次の通り。

記：服部 真也



入館時の検温

男子の部閉会式。本部席前に片山会長から寄贈された新優勝旗を展示



地区別に指定された観覧席

〔男子の部〕

優勝 気比中学校(敦賀市)

第二位 三方中学校(若狭町)

第三位 武生第六中学校(越前市)

第三位 松陵中学校(敦賀市)



男子の部 優勝 気比中学校

準決勝 三方中3―1武生六中

気比中5―0松陵中

決勝 気比中2―1三方中

〔女子の部〕

優勝 鯖江中学校(鯖江市)

第二位 中央中学校(鯖江市)

第三位 武生第二中学校(越前市)

第三位 坂井中学校(坂井市)



女子の部 優勝 鯖江中学校

準決勝 中央中2―0坂井中

鯖江中5―0武生二中

決勝 鯖江中3―0中央中

令和二年度居合道講習会

令和二年九月二十七日(日)

於：越前市武道館剣道場

秋らしく涼しい季節となった中、

九月二十七日(日)越前市武道館に於いて居合道講習会が開催されました。

本来であれば毎年八月に京都府にて開催される居合道中央講習会(全

国)

日本剣道連盟主催の受講者を講師として伝達講習会を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中央講習会が中止となった為、講習内容を伝達講習から玉村伸治講師（居合道教士七段・越前市）による居合道の基礎講習へと変更して開催されることとなりました。

開会式では西川譲専務理事よりご挨拶があり、コロナ禍で日々稽古に励む会員への激励の言葉を頂きました。

講習会では対人稽古を避け、講師の指導の際にも集合せずに互いに距離を保つ等、感染予防の処置が施された講習内容となりました。

今回の講習会はこれまで感染防止の為に稽古を自粛していた会員もいた中で、これからの新型コロナウイルスとの共存も想定した「新しい稽古様式」を参加者が意識する機会となりました。

記：長谷川 翔平



お互いに距離を保ち、講習を受ける参加者

第15回福井県中学校 秋季新人競技大会剣道競技

令和二年十月十七日（土）

於：敦賀市立体育館

中体連主催の今年初の県大会。コロナウイルス感染症の対策を十分に取らないうち、無観客の中で実施した。稽古時間を延ばしながら中身のある稽古が出来るようになってきているが、なかなか練習試合が組めない状況の中、新人戦を迎えた。新人戦がデビュー戦になる生徒もあり、実戦経験がつかない中で大会になったが、緊張感のある、はつらつとした試合が多く見られた。

結果は次の通り。

記：服部 真也

《団体の部》

○男子団体

優勝 武生第六中学校（越前市）

※初優勝



優勝 武生第六中学校

第二位 気比中学校（敦賀市）
第三位 森田中学校（福井市）
第三位 明倫中学校（福井市）

準決勝 武生六中 2-2 森田中

取得本数差で武生六中の勝ち

気比中 4-0 明倫中

決勝

武生六中 3-1 気比中

男子団体決勝は、予選リーグをとともに全勝で勝ち上がった武生六中と気比中との対戦となった。先鋒戦は、序盤からの激しい攻防の末、武生六中の大西選手が出ばな面を決めた。次鋒戦は、気比中の前田選手と武生六中の勝見選手が粘りの戦いを見せ、引き分けた。中堅戦、気比中の小不動選手が居ついたところを見逃さな

かった武生六中の伊藤選手が鮮やかな面を決め、その一本を守り切り一本勝ちを収めた。副将戦は、中盤の打ち合いを制した気比中の寺川選手が面で一本勝ちを収めた。武生六中の1フリードで迎えた大将戦は、気比中の東海選手が序盤から積極的に試合を進めるも、決めきれず延長戦に突入した。そして、東海選手がこらえきれず出たところを山下選手が出ばな面を決めた。

○女子団体

優勝 鯖江中学校（鯖江市）

※初優勝

第二位 武生第二中学校（越前市）
第三位 坂井中学校（坂井市）
第三位 中央中学校（鯖江市）

準決勝 武生二中 3-0 中央中

鯖江中 5-0 坂井中

決勝

鯖江中 5-0 武生二中

先鋒戦、立ち上がりから鯖江中の山下選手が絶妙なタイミングで引き胴を決め先制した。武生二中の岸本選手の果敢な攻めに対し、山下選手が小手を決め先鋒戦を制した。次鋒戦、鯖江中は準決勝まで戦った水野選手に代わり阿部選手が出場。阿部選手は、開始早々に面返し胴を決め、その後相面で2本勝ちを収めた。中堅戦、予選で引き分けている鯖江の伊藤選手が小手返し面で一本先制する展開。武生二中の森谷選手がするどい面一本取り返して延長に持ち込むが、伊藤選手が遠間からの面で



優勝 鯖江中学校

勝利を収めた。副将戦では、激しい打ち合いの後、技の尽きたところを鯖江中の窪田選手が面を捉え、そのまま時間を迎え一本勝ち。大将戦は鯖江中の上坂選手が、引き面の打ち合いで面を決めた。最後まで攻め続ける武生二中の佐竹選手であったが、上坂選手が出小手を決め決勝戦を締めくくった。

《個人の部》

- 全学年男子の部
 - 優勝 山下 慶也 (武生六中)
 - 第二位 東海 来夏 (気比中)
 - 第三位 山本 天晴 (越前中)
 - 第三位 小不動湧大 (気比中)



- 全学年女子の部
 - 優勝 山田 優生 (南越中)
 - 第二位 岸本 歩愛 (武生二中)
 - 第三位 荒屋 瑠奈 (坂井中)
 - 第三位 森川 沙恵 (明倫中)



- 一学年男子の部
 - 優勝 堀 登真 (鯖江中)
 - 第二位 下 寛人 (丸岡中)
 - 第三位 伊藤児太郎 (明倫中)
 - 第三位 田中 悠真 (鯖江中)



- 一学年女子の部
 - 優勝 森谷 栞帆 (武生二中)
 - 第二位 笹野 京愛 (成和中)
 - 第三位 杖谷 紗羽 (陽明中)
 - 第三位 平田 はな (松岡中)

第43回中部地区剣道少年団 研修会福井県予選会

令和二年十月二十四日(土)
於：敦賀市福祉総合センター

あいあいプラザ

剣道を通して学んだことを作文で発表する福井県剣道道場連盟主催の「第四十三回中部地区剣道少年団研修会福井県予選会」が十月二十四日(土)、敦賀市福祉総合センターあいあいプラザで開かれた。小学生の部は常田和太郎君(福井養正館)、中学生の部では奥田心優さん(福井養正館)が最優秀賞に選ばれ、福井県代表として中部地区研修会で審査を受ける。

予選会は県剣道道場連盟に加盟する団体を対象に毎年開いており、小学生7人、中学生2人が出場。同連盟の中村秀男会長ら8人が審査員を務めた。

常田君は「最高学年とは」、奥田さんは「私の心の支え」と題し、日々



の鍛錬で感じたことをまとめた。中部地区研修会は十二月に三重県剣道道場連盟主管で開催するが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、発表審査ではなく、ビデオ審査となる。ほかの入賞者は次の皆さん。
記：向井 俊博

【小学生の部】

- ▽優秀賞 出口 慧 (敦賀市剣道スポーツ少年団)
- ▽優良賞 向井 結衣 (敦賀剣道錬成館)
- ▽敢闘賞 前川 和奏 (九頭竜武徳館)

- 平口 なつみ (粟野剣道教室)
- 山本 優心 (越前少年剣道クラブ)
- 刀祢 龍斗 (木田剣道スポーツ少年団)
- 【中学生の部】
- 優秀賞 南 安音 (敦賀市剣道スポーツ少年団)



最優秀賞に選ばれた常田君(右から2人目)と奥田さん(左から2人目)

私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

- | | |
|------------------|-----------------|
| (株)マルツホールディングス 様 | 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様 |
| (株) 法 美 社 様 | メディアボックス(株) 様 |
| 大栄電設工業(株) 様 | 千寿会医療福祉グループ 様 |
| 医療法人 相木病院 様 | ノザキモーター 様 |
| (株)アイビックス 様 | いづみ観光バス(株) 様 |
| カラヤ(株) 様 | |
| 衆議院議員 稲田朋美 様 | 参議院議員 山谷えり子 様 |
| 高森政義 様 | 岩崎貞夫 様 |
| 土肥茂 様 | 鶴田裕一 様 |

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

- 年会費

個人会員	1口	10,000円
公益または公益に準じる事業を目的とする団体	1口	10,000円
企業等	1口	30,000円

- 特典
 - ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 TEL・FAX:0776-28-6616 e-mail:fkikendo@herd.ocn.ne.jp

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

木田剣道スポーツ少年団

木田剣道スポーツ少年団は、小学生20名、中学生10名が所属し、喜多村先生をはじめとする指導者のもとで、週三回、福井市の福井刑務所内にある剣道場で稽古に励んでいます。団旗に掲げている言葉は「唯心一刀」。「唯一刀に心の全てを懸けて」という意味で、一振りに全てを注ぎ込んだ技が出せるように、基本打ち、応じ技などを中心の厳しい稽古に取り組んでいます。試合前には、通常の稽古に加えて土日に稽古を行い、大会に備えています。団員達は日々の稽古に一生懸命に取り組み、十年連続で全国道場少年剣道大会に出場することができました。

木田剣道スポーツ少年団の特徴は厳しい稽古だけではありません。バーベキューなどの楽しいレクリエーションもあります。指導者、保護者、団員みんなで楽しい時間を過ごし、絆を強くしています。



今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、稽古の回数が減ってしまったり、大会が開催されなかつたりしていますが、気迫のこもった技が打てるように日々の稽古にみんなど励んでいます。

記：刀祢 敬

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

令和二年八月二十三日(日)

於：福井県立武道館

八月二十三日(日)、県立武道館にて今年度最初の剣道形講習会・剣道段位審査会が開催された。新型コロナウイルス感染症予防対策として、受験者には入場時に全員、非接触型体温計による検温、手指の消毒、下足ビニール袋の配付が行われた。三密を防ぐため、受付場所も剣道大道場・小道場、柔道大道場・小道場の4か所に分かれた。また、今回は異例のことであるが、筆記試験の問題が事前に公開され、受験者はあらかじめ作成した解答を受付時に提出する形式がとられた。

その後それぞれの場所で剣道形講習会が行われ、引き続き剣道形の審査会が行われた。いずれもマスクを着用したままである。午後からは実技試験が行われたが、ここでも感染予防対策として、式段以下の審査は剣道大道場で、参段以上の審査は剣道小道場で、と会場を分散して行われた。実技の際には全員面マスクの着用が義務づけられた。さらに実技審査の結果についても、段位ごとに4か所に分けて発表された。このよ

うに徹底した予防対策のもとでの審査会であった。

記：中谷 実伸

「初段」 七十名

矢田部 眺 (織田中一年)	前田 恭吾 (氣比中一年)	蓮覚寺 昊 (足羽中一年)	田中 悠真 (鯖江中一年)	熊谷 祐汰 (金津中一年)	中村 健 (鯖江中一年)	石黒 我空 (陽明中一年)	堀 登真 (鯖江中一年)	与保田 悠人 (陽明中一年)	川岸 哉仁 (坂井中一年)	和田 憲知 (武生中一年)	寺川 大城 (氣比中二年)	吉村 啓 (春江中二年)	尾崎 凌大 (森田中二年)	石川 貴 (南越中二年)	森田 壮一郎 (森田中二年)	片山 智喜 (武生中二年)	小林 侑心 (森田中二年)	花園 悠斗 (武生中二年)	井上 悠翔 (三方中二年)	藤田 惠多郎 (高志中二年)	笥田 翔太郎 (三方中二年)	石田 裕樹 (大東中二年)	山中 健太郎 (三方中二年)	森田 敬弘 (松陵中二年)	江戸 陽琉 (三方中二年)	金巻 颯馬 (武生中二年)	江戸 一誠 (三方中二年)
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	--------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	--------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------

石黒虎愛 (菅原中二年)
山下慶也 (武生六中二年)
山中晴己 (小浜中二年)
内藤陸 (森田中三年)
齊藤雅己 (南越中三年)
桐山陽成 (粟野中三年)
木村日毘 (角鹿中三年)
中西稀羅 (粟野中三年)
北田昂大 (明倫中三年)
幸山千紘 (春江中三年)
小野田涼平 (菅原中三年)
竹嶋景亮 (南越中三年)
岩間星那 (藤島中三年)
十郎結心 (高志高一年)
古川琥珀 (敦賀比高一年)
水野咲太朗 (高志高一年)
内田慶太 (藤島高一年)
橋本龍馬 (敦賀比高二年)
廣崎智哉 (明倫中三年)
藤田柑那 (栗野中一年)
真田静空 (中央中一年)
伊藤光希 (鯖江中一年)
酒井優里那 (武生一中一年)
奥田心優 (松陵中一年)
吉村悠里 (坂井中一年)
笹野京愛 (成和中一年)
石井里青 (勝山北部中二年)
大佐古亜依 (松岡中二年)
松浦初音 (大東中二年)
平松佳菜 (中央中二年)
岩佐蒼生 (足羽一中二年)
谷口胡子 (大東中二年)

「貳段」 三十二名
 崎元惟香 (美浜中二年)
三田村睦美 (成和中三年)
工藤もも華 (大東中三年)
松尾心愛 (高志中三年)
肥田野涼 (大東中三年)
奥沙里 (足羽一中三年)
山畑晴奈 (丸岡高一年)
佐藤千真 (敦賀比高二年)
牧野宝良 (福井商業高二年)
印牧美咲 (藤島高二年)
東海来夏 (気比中二年)
山本天晴 (越前中二年)
森谷昊紀 (武生一中三年)
東谷龍平 (大東中三年)
熊谷龍馬 (三方中三年)
藤井玲空 (松陵中三年)
北嶋廉 (明倫中三年)
武長孝要 (三方中三年)
北嶋和志 (森田中三年)
矢田部凌 (織田中三年)
森口真就 (春江中三年)
野村朋史 (北陸高一年)
廣瀬健人 (羽水高一年)
野村亮介 (藤島高一年)
黒川晃樂 (北陸高一年)
山田遥輝 (藤島高三年)
福岡孝広 (会社員)
下中沙友 (明倫中三年)
楠木心望 (足羽一中三年)
田中心菜 (和泉中三年)

「参段」 二十二名
 橋詰みゆ (三方中三年)
杉原歩佳 (東陽中三年)
鶴見美月 (森田中三年)
中村爽笑 (三方中三年)
高島七実 (足羽一中三年)
江戸紗耶 (三方中三年)
森田こころ (森田中三年)
杉本真生 (高志高一年)
黒川遥香 (福井商業高二年)
上道夢奈 (敦賀比高二年)
木村真理子 (敦賀高二年)
山森優羽 (敦賀比高二年)
前田絢翔 (北陸高二年)
刀根徹平 (敦賀比高二年)
松藤脩二 (啓新高二年)
上埜心寛 (藤島高二年)
三崎洗征 (北陸高二年)
菱川敬吾 (鯖江高二年)
徳橋知輝 (敦賀高二年)
前田侑輝 (丸岡高二年)
前田怜音 (丸岡高二年)
森田恵誠 (北陸高二年)
塚本朗人 (北陸高二年)
熊田慎太郎 (啓新高三年)
堂前黎昇 (敦賀比高二年)
武内聡希 (丸岡高三年)
村井尊 (敦賀比高二年)
山本勇樹 (美方高三年)
清水慎之介 (敦賀比高三年)
末本裕也 (啓新高三年)

「四段」 四名
 梅原陽乃 (敦賀高二年)
谷田ひより (丸岡高二年)
熊谷桃花 (敦賀比高三年)
大矢ひかる (敦賀高三年)

「五段」 四名
 江戸宏和 (公務員)
山本浩史 (教員)
崎元雄紀 (会社員)
阪口和彦 (教員)

剣道・居合道六段以上合格者

令和二年八月三十日(日)

於：京都市

居合道六段 大嶋 雅典 (越前市)

令和二年十月十四日(水)

於：姫路市

剣道六段 馬淵 清和 (敦賀地区)

寺木 勇人 (坂井地区)

ペンリレー

女性剣士の部屋

敦賀地区剣道連盟 大西 ななみ

(敦賀高等学校 教諭)

私は、両親が剣道をしている影響を受け剣道を始めました。練習をしている姿や試合を見て、「私はいつから剣道を始めるの？」と始めるのが当たり前のように両親に話していたそうです。そして鹿児島の阿久根小学校に入学すると同時に、阿久根スポーツ少年団で剣道を始めました。

小学校三年生の時には福岡に引っ越し、福岡如水館という名門道場に入りました。それまでは、週に2回程度の練習で試合経験も少なかったのですが、如水館に入り自分との実力の違いに驚かされたのを覚えています。如水館では、週4回の稽古と土日のほとんどは試合でした。地稽古中心の稽古なので、毎日の稽古が楽しく、練習に行くのが楽しみでした。小学校四年生の頃までは、個人戦の一回戦で負けることも多々ありました。それでも人数が足りなくて団体戦に出していただけたおかげで、だんだん勝てるようになってきました。

剣道に世界大会があると知ったのはその頃のことです、如水館の館長先生(池田健二先生)が出演していたこともあり、私も出てみたいと思うようになりました。小学校五年生の時に個人戦で初めての全国大会(道場連)に出場し、小学校六年生の時に三位になることができました。

その後、老司中学校に入学し、全国中学校剣道大会には一度も出場することができませんでしたが、道場連盟の全国大会で初めて個人優勝することが出来ました。高校は中村学園女子高等学校に進学し、大学は筑波大学に進学しました。

そして目標であった高校教員になることと、選手として高いレベルで剣道を続けることができる環境だと考え、福井県で教員になることを決めました。一昨年は、福井国体はもちろんですが、福井県立武道館に勤務し、小中学生や一般の方と剣を交えることで、初心を思い出すことができ、とても良い経験となりました。

昨年からは福井県立敦賀高等学校に勤務しており、恵まれた環境の中で稽古をすることができています。今の目標は、生徒を日本一に導くことと、自分自身が世界大会で優勝することです。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、試合の中止も続いています。剣道ができる有難さを感じながら、応援して下さる方々に恩返しができるよう精一杯頑張っていきます。



令和元年九月八日、長野市で開催された「第58回全日本女子剣道選手権大会」に出場し、ベスト8(優秀選手賞受賞)。応援に駆けつけてくれた敦賀高校剣道部女子と共に、記念写真撮影

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616